

日本伝熱学会関西支部 第32期 定時総会 議案書

日時： 令和8年4月28日（火） 13:00-13:30

会場： 関西大学千里山キャンパス第4学舎3号館2階 R3202

議案：

1. 令和7年度 事業報告
2. 令和7年度 収支決算報告
3. 令和8年度 事業計画案
4. 令和8年度 予算案
5. 令和8年度 支部役員案
6. 令和8年度 学会役員候補者
7. 公益社団法人日本伝熱学会関西支部規則の改定案
8. その他



第 32 期 支部長
梅川 尚嗣



第 32 期 副支部長
齊藤 泰司



第 32 期 副支部長
一法師 茂俊



第 32 期 常任幹事
村川 英樹

支部総会議案 1 令和 7 年度 事業報告

(支部規則第 11 条 3 項の (2) 審議・議決項目)

* 事業の詳細な報告は、関西支部ホームページ <http://www.htsj.or.jp/branch/kansai/> に掲載

1. 企画委員会

1-1 関西支部第 31 期定時総会・特別講演会，第 32 期第 1 回講演討論会

日時：令和 7 年 4 月 25 日（金）13:00-17:45

場所：梅木 Y ホール（神戸大学深江キャンパス）

定時総会 13:00-13:25

特別講演会

13:40-14:40 「Whither Turbulence Modelling? (From Where to Where)

乱流モデリングは何処から何処に向かうのか」

須賀 一彦 氏（追手門学院大学，大阪公立大学名誉教授）

14:45-15:45 「商品開発と伝熱研究を振り返って」

木戸 長生 氏（パナソニック株式会社）

講演討論会

15:55-16:40 「水素 100%燃料給湯器の開発と今後の展望について」

蓬菜 岳登 氏（株式会社ノーリツ）

16:40-17:25 「マイクロ流体によるバイオプロセスの自動/自律制御への挑戦」

浮田 芳昭 氏（兵庫県立大学）

17:30-17:40 写真撮影

18:00-20:00 意見交換会

参加者 43 名（意見交換会 35 名）



1-2 第 32 期第 2 回講演討論会

日時：令和 7 年 7 月 24 日（木）13:30-17:15

場所：大阪公立大学梅田サテライト

13:35-14:20 「サーモフレクタンスイメージングによるマイクロ/ナノ構造体の熱・電気特性解析」

巽 和也 氏（京都工芸繊維大学）

14:20-15:05 「化学反応を伴う濃厚粒子系混相流の数値モデリングとシミュレーション」

辻 拓也 氏（大阪大学）

15:25-16:10 「自発的に移動する細胞集団におけるアクティブマターとしての秩序形成」

早川 雅之 氏（京都工芸繊維大学）

16:10-16:55 「スラリー薄膜乾燥過程のその場計測と現象理解」

鈴木 崇弘 氏（大阪大学）

16:55-17:15 写真撮影・閉会挨拶

参加者 28 名（意見交換会 20 名）



1 - 3 第 32 期第 3 回講演討論会

日 時：令和 7 年 12 月 2 日（火） 13:30-17:20

場 所：キャンパスプラザ京都 第 1 会議室

共同企画：次世代研究者による伝熱技術研究会（若手の会）

関西支部企画

13:35-14:20 「タイヤ耐久性能予測における温度解析」

石田 孝明 氏（住友ゴム工業株式会社）

14:20-15:05 「将来宇宙輸送システムの設計 開発に対する CFD 活用と課題」

佐々木 大輔 氏（大阪公立大学）

次世代研究者による伝熱技術研究会企画

15:30-16:15 「光加熱とサーモグラフィーを用いた土壌有機物量の定量的評価技術」

加賀田 翔 氏（大阪工業大学）

16:15-17:00 「高熱流束機器から極低温機器までのサーマルマネジメントに向けた
沸騰冷却技術」

結城 光平 氏（山口東京理科大学）

17:00-17:20 写真撮影・閉会挨拶

18:00-20:00 意見交換会

参加者 29 名（意見交換会 21 名）



2. 次世代研究者による伝熱技術研究会（若手の会）

2-1 第1回研究会

日時：令和7年6月26日（木）14:00-16:30

場所：伊福精密株式会社

内容：

14:00-15:00 会社説明，質疑討論

15:00-16:30 工場見学，質疑討論

参加者 15名



2-2 第2回研究会

日時：令和7年10月25日（土）13:40-15:50

場所：京都先端科学大学 京都太秦キャンパス

共同企画：日本機械学会関西支部 エネルギー技術懇話会，同 気液二相流技術懇話会
日本伝熱学会関西支部 伝熱技術フォーラム

内容：講演会

13:40-14:40 基調講演1：古谷 正裕 氏（早稲田大学）

「学習済みネットワークから根拠を学ぶ- 実験と数値流体力学シミュレーション結果の可視画像の機械学習法と説明可能性」

14:50-15:50 基調講演2：小田 豊 氏（関西大学）

「ガスタービン翼冷却に関わる非定常熱流動現象の計測・解析技術」

2-3 第3回研究会

日時：令和7年12月2日（火）

場所：キャンパスプラザ京都 第1会議室

共同開催：日本伝熱学会関西支部

内容：講演討論会

13:35-14:20 講演1（関西支部企画）：石田 孝明 氏（住友ゴム工業株式会社）
「タイヤ耐久性能予測における温度解析」

14:20-15:05 講演2（関西支部企画）：佐々木 大輔 氏（大阪公立大学）
「将来宇宙輸送システムの設計 開発に対するCFD活用と課題」

15:30-16:15 講演3（本研究会企画）：加賀田 翔 氏（大阪工業大学）
「光加熱とサーモグラフィーを用いた土壌有機物量の定量的評価技術」

16:15-17:00 講演4（本研究会企画）：結城 光平 氏（山口東京理科大学）
「高熱流束機器から極低温機器までのサーマルマネジメントに向けた沸騰冷却技術」

参加者 29名（意見交換会 21名）

2-4 第4回研究会

日時：令和8年3月5日（木）

場所：カナデビア株式会社 堺工場 Hitz 防災ソリューションラボラトリー

内容：

13:15-14:30 Hitz 防災ソリューションラボラトリー見学

15:00-16:00 交流会，質疑討論

参加者7名



3. 第18回伝熱セミナー

第18回関西伝熱セミナー「グリーントランスフォーメーションとエネルギー技術」

日時：令和7年8月29日（金）13:00～30日（土）12:00

会場：休暇村紀州加太

内容：

1日目（8月29日）

13:10-14:10 特別講演：赤松 史光 氏（大阪大学）

「化石燃料の大量消費と環境問題を解決するための水素エネルギーキャリア戦略
－工業炉でのアンモニア直接燃焼利用－」

14:20-15:05 沼口 遼平 氏（川崎重工業株式会社）

「川崎重工業における燃焼排ガスおよび大気からのCO₂分離回収技術への取り組み」

15:05-15:50 原田 真宏 氏（大和ハウス工業株式会社）

「カーボンニュートラル達成に向けた大和ハウスグループのエネルギーマネジメント等
に関する取り組み」

16:00-16:45 能村 貴宏 氏（北海道大学）

「Power to Heat to Power および Power to Heat の実現に向けた高温蓄熱技術の
開発」

16:45-17:30 米野 範幸 氏（パナソニック株式会社）

「家電におけるGXの取り組み」

2日目（8月30日）

9:00-9:45 朴 海洋 氏（株式会社神戸製鋼所）

「神戸製鋼グループにおけるカーボンニュートラルに向けた取組について」

9:50-10:35 獅野 和幸 氏（信州大学、東レエンジニアリング株式会社）

「リチウムイオン電池のサーキュラーエコノミーとGX」

10:40-11:25 芹澤 毅 氏（ダイハツ工業株式会社）

「脱炭素社会を目指すBEV技術を応用したマイクログリッド」

参加者51名



4. 伝熱技術フォーラム

4-1 第1回例会

日時：令和7年10月25日（土）13:40-15:50

場所：京都先端科学大学 京都太秦キャンパス

共同企画：日本機械学会関西支部 エネルギー技術懇話会，同 気液二相流技術懇話会
日本伝熱学会 次世代研究者による伝熱技術研究会

内容：講演会

13:40-14:40 基調講演1：古谷 正裕 氏（早稲田大学）

「学習済みネットワークから根拠を学ぶ- 実験と数値流体力学シミュレーション結果の可視画像の機械学習法と説明可能性」

14:50-15:50 基調講演2：小田 豊 氏（関西大学）

「ガスタービン翼冷却に関わる非定常熱流動現象の計測・解析技術」

4-2 第2回例会

日時：令和8年3月19日（木） 10:00-14:40

場所：大阪ガス株式会社 先端技術研究所

内容：見学会，講演会

11:00-12:15 先端技術研究所見学

13:30-14:30 講演：堀 司 氏（大阪大学）

「窒素タグ付き詳細反応機構を用いたアンモニア燃焼炉の三次元 CFD 解析」

参加者 11 名



5. 国際交流委員会

5-1 学生国際発表助成

本助成は、学生の国際交流を奨励する目的で、海外で開催される国際会議やシンポジウムで、学生が伝熱学に関する研究成果を自身の口頭発表、またはポスター発表のため渡航するのに必要な経費（渡航費・滞在費・会議登録費）の一部を補助するものとし（過去に助成実績があっても再応募が可能）、助成金額は、1件につき上限15万円までの実費による精算払いで、過去の助成分を含めて助成額が25万円を上回らないこととした。なお、助成金総額20万円である。

2025年4月1日から2026年3月31日を含む期間（1次募集）と2025年10月1日から2026年3月31日を含む期間（2次募集）の渡航予定に対し、それぞれ以下の日程で募集した。

国際会議日程	募集期間	採択通知
1次募集（2025年4月1日-2026年3月31日の開催）	2025年3月11日-3月31日 締切：3月31日必着	2025年4月15日
2次募集（2025年10月1日-2026年3月31日の開催）	2025年8月15日-9月16日 締切：9月16日必着	2025年9月30日

審査の結果、1次募集にて2名を採択し助成を行った。なお、1次募集において年間予算に達したため、2次募集は行わなかった。

5-2 4th International Seminar on Heat Transfer and Fluid Flow

日時：令和8年3月27日（金） 13:15-17:20

場所：京都工芸繊維大学 和楽庵

内容：講演会

13:30-14:30 Prof. Dr.-Ing. Wilko Rohlfes (RWTH Aachen University)

「Interfacial Phenomena in Heat and Mass Transfer」

14:40-15:20 Dr. -Ing. Daniel Kroniger (Kawasaki Heavy Industries, Ltd.)

「IR-Borescope for measuring the wall temperature profile of the hot passage of a gas turbine」

15:30-16:10 Prof. Dr. Anna Sciazko (The University of Tokyo)

「From microstructure to performance: data-efficient machine learning for electrochemical devices」

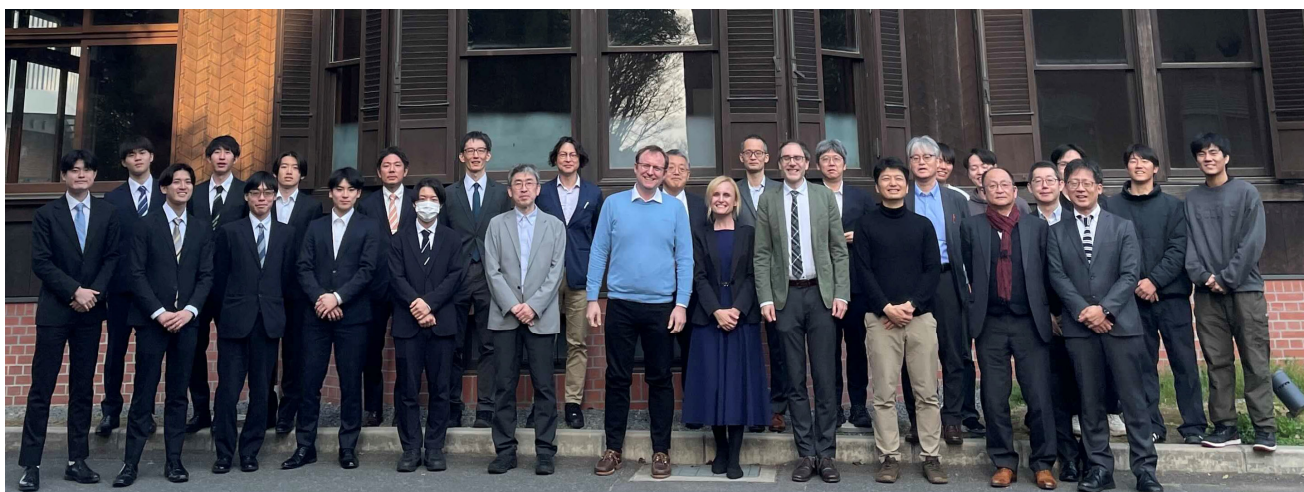
16:20-17:20 Panel Discussion

Chair: Prof. Kazuya Tatsumi

Short presentations by: Prof. Rohlfes, Dr. Kröniger, Prof. Sciazko, Prof. Matsumoto

「Engineering Education, Research, and Career Development in Europe and Japan」

参加者28名




支部総会議案2 令和7年度 収支決算報告


(支部規則第11条3項の(2) 審議・議決項目, 第15条 監査項目, 第16条 承認項目)

令和7年度収支決算報告

令和7年度日本伝熱学会関西支部決算書について監査の結果, 適切なものであることを確認いたしました。

令和8年4月1日

監事 塩見洋一 

監事 有澤秀則 

令和7年度日本伝熱学会関西支部収支決算書
(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

収入	項目	執行金額
	支部活動交付金(含申告制活性化基金)	¥115,000
	伝熱セミナー収入	¥1,168,000
	銀行利息	¥1,412
収入合計		¥1,284,412
前期繰越金		¥749,800
合計		¥2,034,212

支出	項目	金額
	支部事務費	¥2,200
	会議費	¥64,690
	講演討論会	¥47,515
	伝熱技術フォーラム	¥0
	伝熱セミナー	¥1,100,107
	国際セミナー	¥48,960
	学生国際発表助成	¥200,000
支出合計		¥1,463,472
次期繰越金		¥570,740
合計		¥2,034,212

支部総会議案3 令和8年度 事業計画案

(支部規則第11条3項の(1) 議決項目)

○ 総務委員会 (委員長:常任幹事)

- ・支部の総務・会計を担当する.
- ・支部ホームページを運営・管理する.

○ 企画委員会

- ・講演討論会を年度内に3回程度開催する.
うち1回は本部所属の次世代研究者による伝熱技術研究会(若手の会)との合同企画とする.
- ・委員長は次世代研究者による伝熱技術研究会(若手の会)の主査を兼務する.

○ セミナー委員会

- ・第19回関西伝熱セミナーを企画する.

○ 伝熱技術フォーラム委員会

- ・例会/見学会を年度内に3回程度開催する.

○ 国際交流委員会

- ・国際交流事業を企画・開催する.

支部総会議案4 令和8年度予算案

(支部規則第11条3項の(1) 議決項目)

令和8年度日本伝熱学会関西支部予算案 (令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

収入項目	令和8年度予算	令和7年度予算	令和6年度予算
支部活動交付金	¥115,000	¥115,000	¥115,000
関西伝熱セミナー収入	¥1,600,000	¥1,500,000	¥1,500,000
国際交流セミナー収入	¥0	¥0	¥0
申告制支部活性化引当基金			¥45,000
銀行利息	¥500	¥10	¥10
収入合計	¥1,715,500	¥1,615,010	¥1,660,010
前期繰越金	¥570,740	¥890,389	¥749,800
合計	¥2,286,240	¥2,364,810	¥2,504,399

支出項目	令和8年度予算	令和7年度予算	令和6年度予算
支部事務費	¥2,000	¥2,000	¥2,000
会議費	¥110,000	¥60,000	¥60,000
関西支部講演討論会開催費	¥50,000	¥50,000	¥50,000
伝熱技術フォーラム開催費	¥50,000	¥50,000	¥50,000
国際交流推進経費(国際交流 セミナー開催・学生支援等)	¥50,000	¥200,000	¥200,000
関西伝熱セミナー会議/開催費	¥1,450,000	¥1,200,000	¥1,200,000
支部活性化基金(本部へ) 予備費	¥574,240	¥802,810	¥942,399
合計	¥2,286,240	¥2,364,810	¥2,504,399

支部総会議案5 令和8年度支部役員案

1. 支部役員 (支部総会選任：支部規則第11条3項の(3)審議・議決項目)

下線は新任 他は留任

支部長	梅川 尚嗣 (関西大学)
副支部長	木村 文義 (兵庫県立大学), <u>梶川 悟 (新明和)</u>
常任幹事	村川 英樹 (神戸大学)
幹事	山口 義幸 (兵庫県立大学), <u>網 健行 (関西大学)</u> , 岸本 将史 (京都大学), 佐藤 健 (パナソニック), 後藤 文孝 (住友精密工業), 戸島 正剛 (神戸製鋼所), <u>安達 拓矢 (三菱電機)</u> , <u>石破 滉也 (カナデビア)</u>
監事	<u>浅野 等 (神戸大学)</u> , 有澤 秀則 (川崎重工業)

2. 支部委員会委員 (支部規則第13条により設置)

下線は新任 他は留任

- 総務委員会
委員長：村川 英樹 (神戸大学)
委員：網 健行 (関西大学), 杉本 勝美 (神戸大学), 出島 一仁 (滋賀県立大学)
- 企画委員会
委員長：金田 昌之 (大阪公立大学)
委員：田中 誠一 (明石工業高等専門学校), 藤原 邦夫 (大阪大学)
増田 勇人 (大阪公立大学)
- 第19回セミナー委員会
委員長：大村 直人 (神戸大学)
委員：菰田 悦之 (神戸大学), 堀江 孝史 (大阪公立大学), 増田 勇人 (大阪公立大学),
浅野 等 (神戸大学), 杉本 勝美 (神戸大学)
- 伝熱技術フォーラム委員会
委員長：林 潤 (京都大学)
委員：岸本 将史 (京都大学), 堀 司 (同志社大学)
- 国際交流委員会
委員長：河南 治 (兵庫県立大学)
幹事：廣川 智己 (兵庫県立大学)
委員：西田 耕介 (京都工芸繊維大学), 瀬尾 健彦 (近畿大学)



第33期 支部長 候補
梅川 尚嗣



第33期 副支部長 候補
木村 文義



第33期 副支部長 候補
梶川 悟



第33期 常任幹事 候補
村川 英樹

支部総会議案6 令和8年度 学会役員候補者

(支部規則第11条3項の(4) 審議・議決項目)

下線は新任 他は留任

令和8年度 支部推薦の学会理事・協議員候補者

理事（支部担当）	<u>木村 文義（兵庫県立大学）</u>
協議員	<u>劉 秋生（神戸大学）</u>
	<u>鈴木 崇弘（大阪大学）</u>
	<u>山崎 龍朗（三菱重工業）</u>
	<u>寺井 航（ダイキン工業）</u>
	<u>原 峻平（同志社大学）</u>

令和8年度 本部推薦関西支部所属の学会理事・協議員候補者

企画部会担当理事 部会長	<u>巽 和也（京都工芸繊維大学）</u>	（第64・65期）
企画	河南 治（兵庫県立大学）	（第64・65期）
編集出版	<u>廣川智己（兵庫県立大学）</u>	（第65・66期）

令和8年度 次世代研究者による伝熱技術研究会（本部研究会，通称若手の会）候補者

主査：金田 昌之（大阪公立大学）

幹事：加賀田 翔（大阪工業大学），石破 滉也（カナデビア）

支部総会議案7 公益社団法人日本伝熱学会関西支部規則の改定案

(規則の改定：支部規則第17条 議決項目)

変更前	
(事業)	
第4条	本支部は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。 (1) 研究会、講演会等の開催 (2) 講習会、セミナー等の開催 (3) 研究および調査の実施 (4) 関連の学術・技術団体との交流 (5) その他第3条の目的を達成するために適切な事業
変更後	
(事業)	
第4条	本支部は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。 (1) 研究会、講演会等の開催 (2) 講習会、セミナー等の開催 (3) 研究および調査の実施 (4) 関連の学術・技術団体との交流 (5) 研究発表、研究業績、および支部活動支援等に対する表彰 (6) その他第3条の目的を達成するために適切な事業